



012号(2012年8月12日)

目次

名古屋支部「授業研究会」6月例会
九州支部「授業づくり研究会」開催
国際協同教育学会イギリス大会
(2013年)発表募集中
全国大会事前参加申込みメ切迫る
ワークショップ・アドバンス開催
今後のワークショップのお知らせ
出版情報

名古屋支部「授業研究会」6月例会

6月例会を6月18日(月)午後7時から名古屋大学で開催しました。テーマは「物理基礎におけるコの字型座席授業」で、報告者は三重県立桑名北高等学校の中村陽明先生です。それまでの授業の多くは暗記型の穴埋めプリントが中心でしたが、それでは社会の中で生きる力は伸ばせません。そこで4月からは「問題を解くことの面白さを学びあう授業づくり」を目指したそうです。報告された授業内容は「等加速度直線運動のグラフを書くこと」「減速の意味を理解すること」で、生徒に問題演習をさせ、コの字の座席で学びあいを行うスタイルでした。コの字型座席の授業という、司会のもと整然と話し合う光景がイメージされますが、その固定概念を覆す授業風景でした。あちらで、こちらで、生徒たちが各自のペースで関わり合い、学び合っていました。「問題が1問解けるだけで、心のそこから笑顔になり、ハイタッチをしてまで喜んでる姿を見て、教科書の穴埋め問題ではなく、あえて難しいかもしれない問題に生徒がチャレンジし、それを学びあい乗り越えたときの喜びを

少しでも体感することの大事さを学びました」と中村先生はコメントされました。

今回は8月20日(月)午後7時から名古屋大学教育学部第2講義室で開催します。テーマは「協同の学びにいたる教師の実践知・授業観の解明」です。(事務局：名古屋市立桜台高等学校 水野正朗, mizunokita@yahoo.co.jp)



6月例会

九州支部「授業づくり研究会」開催

九州支部の月例「授業づくり研究会」が盛況です。6月の研究会(6月23日(土)、久留米大学御井キャンパス)には、35名が参加しました。仲間との交流ののち、佐賀大学全学教育機構 ICT 教育支援室の藤井俊子先生が佐賀大学における学習管理システム(LMS: Learning Management System)の活用例を中心に、初心者にもわかりやすい e ラーニングの活用法について紹介され(題目: 佐賀大学におけるeラーニングの活用事例)、e ラーニングを活用した新しい授業づくりに向けて参加を含めて議論しました。

そして、立命館アジア太平洋大学の秦喜美恵先生、住田環先生、清水昭子先生、板井芳江先生が本年1

月の研究会で報告された「フィールド型体験学習 FIRST (Freshman Intercultural Relations Study Trip)」の効果を、協同学習の基本要素の観点から分析し直した結果を紹介しました。

7月の研究会(7月21日(土)、久留米大学福岡サテライト)では、仲間との交流ののち、6月の研究会で検討課題として挙げられた「協同の原理」について参加者全員で意見交換を行い、これまで当然のように使ってきた「協同」という言葉について改めて考えてみました。また、「協同学習の観点から見た望ましい指導案」についても皆で検討しました。参加者は38名。研究会終了後、懇親会を行いました。



5月の勉強会風景

国際協同教育学会イギリス大会(2013年)発表募集中

国際協同教育学会(International Association for the Study of Cooperation in Education)2013大会が来年、2013年7月4、5、6日、イギリスのハル大学で開催されます。発表の募集が始まりましたので、ふるってご応募ください。プロポーザルの締め切りは今年の12月1日です。詳しくは <http://www.iasce.net/home/events/iasce-2013-conference> でご確認ください。

JASCE

第9回全国大会 <事前参加申込みは8 / 20 まで!>

9月22日(土・祝)～23日(日)に行われる第9回全国大会(日本歯科大学新潟生命歯科学部)のプログラムが確定しました。研究発表や小中高大学における事例報告の他、ラウンドテーブルやワークショップを多数企画しています。また、大会2日目9/23(日)午後には、中田力先生(新潟大学統合脳機能研究センター長)をお招きして記念講演「こころを創る脳機能」が行われます。詳細は、学会HPにてご確認ください。

なお、一部のワークショップでは、事前申し込みが必要です。大会参

加の事前申し込みと併せて8月20日までに申し込みをお願いします(先着順。定員に達しない場合に限る、当日受付を行います)。

さらに、大会前日(9/21)には、全校体制で「自主協同学習」の実践をしている宮浦中学校の授業が見学できます。13:30から50分間で4つの教科の授業が並行して公開され、引き続き4つの分科会での協議を予定しています。同中学校では、昭和61年に高旗正人先生の指導のもと、全教育課程を通して生徒の人間関係づくりを目指した研究発表会を行い、その伝統

を今日まで脈々と受け継ぎ、年間に3回ほどの学校・学級運営や授業実践の報告と協議を続けています。

参観を希望される方は、事前の大会参加手続きの申込メールもしくは振替用紙の内訳欄に参観を希望される旨をお書き添え下さい。

また、会場周辺には飲食店がほとんどございませんので、お弁当を事前に注文されることを強くお勧めします。事前の参加手続きと併せて8月20日までに申し込み下さい。

(大会準備委員長 益谷 真)

●ワークショップ・アドバンス開催

5月19日(土)、20日(日)に、ワークショップ・アドバンスを立教大学池袋キャンパスで開催しました(講師:伏野久美子先生)。修了者は12名。北海道、新潟、愛知、鳥取、福岡など、遠方からも参加され、活発なディスカッションが行われました。参加者からは、「協同学習における評価など、実践しながらより深く学びたいと思っていたことが学べて、大変に有意義なワークショップだった」等の感想が寄せられました。

●今後のワークショップのお知らせ

10月20日(土)、JASCE主催・関西国際大学共催で「大学教員向け協同学習ワークショップ」を関西国際大学尼崎キャンパスで開催します(定員24名)。詳しくはHPをご覧ください。

●出版情報

8月20日(月)、和井田節子・柴田好章編『協同の学びをつくるー幼児教育から大学までー』三恵社(定価1800円+税、151頁)が発刊されます。

執筆者は、協同的な学びの研究会「名古屋支部」のメンバーです。小中高大の教員が、時には大学生や大学院生も加わって、授業について語りあうのですから、刺激的で、誰にとっても得ることはたくさんありました。研究会は勢いがついて、「そうだ!学会に行こう!」ということになって、2010年9月にメンバーで日本協同教育学会第7回山口大会におしかけました。夜、湯田温泉で足湯に浸かりながら、翌日のラウンドテーブルについて相談していたのですが、それが「そうだ!協同の学びの楽しさと、そういう授

業の作り方を本にして伝えよう」となり、編集プロジェクトがはじまりました。

本書は、協同の学びの理論と実践を幼小中高大の校種ごとに紹介しています。また、授業研究会の進め方も載っています。協同の学びを導入したい教師や、協同の学びがどの教室でもふつうに行われている学校をつくりたい学校づくりのリーダーの方たち、協同の授業ができる教師をめざして学んでいる学生のみなさんに役立つと思います。



(水野正朗)